

生活スタイル得本

リサイズ VOL.28



広報室だより

皆様、いかがお過ごですか?

古賀や、福津の海岸も賑やかな季節になりました。鮮やかなマリンブルーや、海岸線の至る所から見える夕日は今流行りの「インスタ映え」ですね。

今回の「スマイルフォト」に登場してくださったのは、アドバイザー甲斐が担当させて頂きました!様です。ご相談頂いたのは天井のカビでした。ご自分でカビキラーなどをしても斑模様になるだけで日々カビが広がって行く事を心配されてのご相談。カビの原因を確認すると天井は塗り壁でした。コンクリートの天井に直接塗っていたので、結露からカビが発生したと考えられます。今後の事も考え天井の

下地を新たに作り、クロス張りに仕上げました。大工・クロス職人などが入らせて頂き純白の天井に生まれ変わりました。I様より「大工さんにコンセントの事など相談に乗ってもらったり凄く良くしてもらって嬉しかった」とのお言葉を頂きました。先日、I様の撮影の為にお伺いしましたが、玄関を開ければI様のプロ顔負けの手作り装飾品をお出迎えしてくれて、お部屋の中も素晴らしい作品ばかり…。明るくなったお部屋にI様の優しいお気持ちが形になった作品が一段と輝いていました。I様、制作途中の編み物が出来上がったら是非拝見させて下さいね。

これからも、末永いお付き合い宜しくお願いします。

長崎材木店リフォーム事業部 広報室



PICK UP ピックアップNEWS

水廻りリフォーム展示 現品大処分SALE 開催!!



7月 7日(土)・8日(日) 【場所】古賀本社水廻りショールーム
【時間】10:00~17:00

日頃のご愛顧に感謝してOB様先行ご案内!

弊社二階水廻り展示場リニューアルが決定!《このお得な機会をお見逃しなく!》

職人紹介

【大工編】



ふじの の一かし
藤野 孝

●プロフィール

自動車部品や家電部品の塗装工を2年しました。その後、大工見習いになりました。

●好きな言葉／

自由

●趣味／

家でテレビを見る事

仕事上、嬉しかったことは何ですか?

仕事をした現場がテレビなどに取り上げられた時です。特に南蔵院縁物涅槃像の廊下は、自分も工事に参加していたので、テレビに映ると嬉しく思いました。

この仕事のやりがいは何ですか?

物づくりです。一本の角材、一枚の板に手を加えて全く違うモノに仕上げていくところに仕事のやりがいを感じます。

～素敵なお庭を手に入れよう《その1》～



ESTINA

エスティナ福岡

0120-39-5678

定休日／水曜・木曜

季節が良いこの時期に、「毎日使える快適な生活空間」にしませんか?毎日の暮らしでもっと楽しくなります。

『お庭の手入れが大変!』

『何かしたいけれど、何をどうしていいかがわからない』 etc …。

施工事例を見ながらお話するのでご安心ください。「庭の相談があります」とお気軽にお電話ください♪

ESTINA(エスティナ)福岡とは…

エスティナは、エクステリア・外構・ガーデンのプランニングと施工を行うブランドです。オーダーメイドのガーデンを、主に手書きの図面でご提案いたします。



クリエイター
平下 美幸



クリエイター
田中 明日香



ARIZONA

白木のスタッフ紹介

技術管理(現場監督)
～小田 航平さん編～

日々奮闘し続けるスタッフの方を様々な角度から

紹介する「スタッフ紹介」コーナーです。

今回は技術管理(現場監督)の小田さんに密着しました!

小田さん1日密着

8:15



本日は現場監督の
小田さんに終日密着です。

リフォーム
アドバイザーの
甲斐さん
コーディネーターの
八島さん

ハンディマンの
飯川さん
AMBA
ハンディマンの
田中大工

今回も
とこどん密着させて
いただきます。

ARIZONA 白木

広告会社勤務。「目標は体重10kg減量!!」
を掲げて早数年。減量どころか増量中。今度
こそ! 今度こそは必ず実現します!!

10:20到着

各所でスタッフの方々を発見!

出社後は、日課の掃除と
本日の行動予定の再確認。

朝礼後、朝倉郡の
施工中の現場に移動しました。

薪ストーブ設置の
サポートから開始。

設置後、現場をくまなく
チェックしていきます。

気になった事を、
大工さんと話していきます。

大工さんとの打合せを
とても大事にされていました。

11:30



福岡南展示場に移動し、
スタッフの竹本さんと
工程管理の打合せ。



大野城市の
「とんかつ大将」さんで
パワーランチ。

12:45



本社に戻り、
スタッフの方々と、打合せ。

場所を移動し、施工現場の管理。

気になった事は、
必ず丁寧に伝えます。

16:00



「本日はお疲れさまでした。」



ARIZONA白木が見た 小田さんの人物像

とにかく迅速で且つ丁寧に仕事をされていて、後輩の方にもわかりやすく現場や工程管理の事を説明されていました。『長崎材木店の建てた家が大好き』と公言する小田さんの笑顔がとても印象的でした。これからも1歳の女の子のパパとして、現場監督として、家庭と現場を支えてください。



福津市
A.PUTEC
/ FLEGO

リノベーション
Renovation
Works

古さと新しさ、西洋と東洋が混在する アンバランス・バランスの美

長崎材木店 リノベーション

築40年の古民家を 魅力的なショップに



- ・古民家をショップ兼飲食店に
- ・存在感のあるカウンター
- ・ゆったりくつろげるテーブル席
- ・ナポリ製の石窯コーナーも

福津市の繁華街からも遠く離れた山里に、古民家をリノベーションしたショップ兼レストラン&カフェがある。ここは福津市で西欧野菜の栽培を行う『テヌータカンピフレグレイ農園』のオーナー・シリビオ・カラナンテさんと妻の花田愛さん

純和風だった建物は構造がシンプルで、リノベーションにも適した物件だった。天井や床を取り除き、傷んでいた瓦を葺き替え、あとは構造上必要な柱や梁を残して解体した。「屋内を仕切るもののがほとんど何なくなつた建物を、どうリデザインしようか」。シリビオさんは「八川さんによる、空間の再構築がスタートした。



気候が良くなったら窓を開け放ち、テラスでも食事を楽しめるように



【カウンター】

墨を練り込んだモルタルのカウンター。後ろに張ったタイルはイタリア製で1つひとつ形や表情が異なる。イタリアから遊びにいらした義理のお兄さまと一緒に張った、思い出深い壁



仲良く農園やショップを切り盛りする、シルビオさんと愛さん夫妻。右上の農機具を生かしたランプシェードは、愛さんの提案。八川さんも脱帽のグッドアイデア!



シルビオさん自身が手がけたワインカウンター。「古い木とモルタルのバランスがとても気に入っています」

何度も意見をぶつけ合い妥協のない空間を追求

空間の構成要素は大きくわけて4つ。1つ目は採れたての野菜や手作りのパンを販売するショップ。2つ目は何人のスタッフが気持ちよく働ける広い厨房。3つ目はピザを焼く大きな石窯。そして4つ目がお茶や料理、ワインを楽しむカフェ&レストランの飲食スペース。これらの要素をかちりと仕切るのではなく、ゆるやかに一体感を持たせながらゾーニングしていくにはどうすればいいか。シルビオさんと八川さんは何度も打合せを重ね、時には熱く意見をぶつけ合いながらプランを熟考した。

「私のこうしたいというイメージを八川さんは時間をかけてヒアリングし、さらに深い意図まで汲み取ってくれました」とシルビオさん。これを受け「シルビオさんは野菜づくりでも妥協のない仕事を追求してこられた方。店づくりでも常に『本物』を求められました。その気持ちに応えたかった」と八川さん。両者の店づくりの情熱が実を結び、ショップ『A・PUTEC』(アブテカ)とカフェ&レストラン『FLEGO(フレゴ)』が完成した。



左／ショップ『アプテカ』に並ぶ、シルビオさんが栽培するフレッシュな西欧野菜。右／トイレもシンプルかつ機能的なデザイン



シンプルな照明を組み合わせ、陰影ある空間を演出。古いハシゴを生かした照明はシルビオさんのハンドメイド



ショップ『アプテカ』全景。イタリアや地元・福津市の加工品や手作り雑貨も並ぶ。厨房との間を仕切るガラスにはその日のメニューを書いて、楽しい雰囲気を演出

アンバランスなもので バランスを取るという発想

平屋建ての住居から、複数の機能を併せ持つ店舗へと生まれ変わった古民家。エントランスを入れ正面は墨を練り込んだモルタルのカウンター。バックに張られた陶器のタイルはイタリアから取り寄せたものだそうだ。

このカウンターに向かって左側がショップ『アプテカ』。ガラス越しに広い厨房の様子が見て取れる。厨房のステンレスの什器も一部をモルタルで覆い、単調になりがちな厨房の表情に変化をつけている。そしてカウンター右側に広がるのがカフェ＆レストラン『フレーゴ』の飲食スペース。思わず見上げるほど高い天井に行き交う太い梁：



歳月を経て味わいを増した柱や梁をすべて見せるカフェ＆レストラン『フレーゴ』。テーブル席のほか、スタッフと話をしながら食事を楽しめるカウンター席も設けられている

「家づくりの本」2018年春号掲載 福津市 A.PUTEC/FLEGO



当社担当設計士
八川のコメント

長期間の打ち合わせそして、施工期間中いろいろありがとうございました。「笑い」時には「喧嘩」。この様な時間を一緒に過ごしたからこそ生まれた空間だと思います。
お忙しいかと思いますが、これからもご夫婦のお気持ちが込もったお料理を皆さんにご提供し続けて下さい。

古民家ならではのどっしりとした構造に見惚れるだろう。
さらに、奥にはナポリから取り寄せたピザ用の石窯が、表面を覆うゴーリドのタイルに合わせ、石窯周辺の壁は落ち着きのある赤で塗装されている。

感心するのは空間を見渡した時に感じる、絶妙なバランス感覚だ。「私が手がけるリノベーションは、アンバランスなものでバランスを取る一つまり、アンバランス・バランスを重視しています」と八川さんが話すとおり、確かに日本と西欧、それぞれの古民家の持ち味や、現代のモダンな感性と時代を経てきたものの魅力：さまざまに異なる要素が見事に調和している。これぞ、リノベーションだから実現できる空間表現であり、「長崎材木店」が手がけるリノベーションの真骨頂だ。



ブログ便りコーナー 《お役立ち情報盛りだくさん!》

屋根雨漏れ補修工事

《ハンディマン 古山》

東区K様より、「風が強い日に雨漏れがする」とのご相談を頂きました。屋根点検を行い増築部の屋根の収まりの不具合が原因と判断。瓦を剥がすとコストも掛かる事から上からの板金を巻き雨水の侵入を防ぎました。これから台風のシーズンになります。雨漏れ等ご心配な事はご相談下さい。



before



after



外配管詰まり除去作業

《ハンディマン 北坂》

宗像市のH様より、柵の清掃のご依頼を頂きました。基本的に詰まり除去作業には高圧洗浄器を使用して行いますが、今回のご依頼は高圧洗浄器を使用しても解消されない箇所を発見!! 土に埋まっている柵を覗くと木の根っこが見え人力で引張出しました。写真の木の根がその時のも。配管の詰まりにも色々な原因があります。おかしいな…と思われたらすぐご相談下さい。直ぐにお伺いして原因究明します。



before



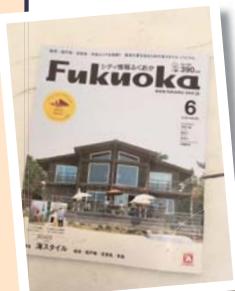
after

メンテナンス課

0120-30-0537

編集後記

ランドシップ



先日、なにげなしに書店をのぞいていると福岡の情報誌「シティ情報福岡」の今月号の表紙に我々の海辺に浮かぶモデルハウス「LAND SHIP」が掲載されました。

思い返せば今から10年程前、知人と冗談半分に始めたカフェ。今では福津のランドマーク的な存在へとなっております。今迄はどちらかというと、ランドシップに関しては我々長崎材木店のカラーは極力消して運営していましたが、9月より新たに気軽に家づくりやリフォーム&不動産の相談ができるサテライトスタジオを設置するはこびとなりました。古賀の本社に行くには敷居が高い、子供と海に行くついでに相談したい、などといったニーズにお答えしたいと思っております。もちろんOB様には何らかの特典をつけようかとも考えております。

海を見ながらプランの打ち



合わせ、素敵じゃないですか?また、実は我々に於いては糸島にも、海が見えるリノベーションスタジオ「糸島キャビン」をご準備しております。こちらは完全予約制となりますが公開中でございます。

あとは面白い所で浮羽の山の頂きにあるキャンプ場「浮羽ロッジ」。こちらはわたくしがコツコツ作って来た私設キャンプ場。風呂もトイレも完備。とまあ実は色々やっております。

要するに自分が求める「素敵を」事業にしているのです。なにはともあれ書店でご覧ください。

《追伸》

当社設計のハリ君が元の古い民家をリノベーションした福津市にあるイタリアレストラン『アプテカ フレーゴ』のオーナーシルビオさんもイタリアのナポリのご出身との事。オープン以来大人気のお店です。こちらも本誌の取材に掲載されています。



代表取締役 長崎 秀人

株式会社長崎材木店 リフォーム事業部

NAGASAKI TIMBER CORP.

福岡県古賀市天神5-10-5

0120-30-0354

TEL 092-944-3003 FAX 092-943-6208 <http://www.howsetop.com>

支
店

- 本社総合展示場
- 福岡西展示場
- 福岡南展示場
- (株)長崎材木店リアルエステート
- ランドシップカフェ

事
業
部

- 注文住宅事業部
- ログハウス事業部
- リフォーム事業部
- 不動産事業部
- ガーデン事業部
- 薪ストーブ事業部